

2021年度決算について

横浜高速鉄道株式会社（本社：横浜市中区、代表取締役社長：森 秀毅）の2021年度（第34期）決算がまとまりましたので、概要を発表いたします。

1 決算の概要

当期の運輸収入は、定期はコロナ禍での沿線企業のテレワークの定着などにより3.3%減となる一方、定期外は店舗の時短営業やイベントの開催制限等の緩和で沿線の人出が一定程度戻りはじめたことにより34.8%増となり、合計で11億4千万円（17.3%）増加しました。営業収益全体としては、11億7千1百万円（14.7%）増加し、91億5千2百万円となりました。一方、営業費は、前期比6千4百万円（0.6%）減少し、103億1千5百万円となりました。この結果、営業損益は、11億6千2百万円の営業損失となりました。（前年同期は23億9千8百万円の営業損失）。

また、経常損益は、21億5千4百万円の経常損失となりました（前年同期は35億8百万円の経常損失）。特別利益として、こどもの国線の運営に係る補助金等2億9千3百万円、特別損失として固定資産圧縮損1億7千6百万円、法人税等として4百万円を計上した結果、当期純損益は、20億4千1百万円の当期純損失となりました（前年同期は34億7千5百万円の当期純損失）。

（単位：百万円）

項 目	2020年度 (第33期)	2021年度 (第34期)	増 減
A 営業収益	7,981	9,152	1,171
B 営業費	10,379	10,315	△64
C 営業損失(△)(A-B)	△2,398	△1,162	1,235
D 営業外収益	9	12	2
E 営業外費用	1,119	1,003	△115
F 経常損失(△)(C+D-E)	△3,508	△2,154	1,354
G 特別利益	322	293	△28
H 特別損失	284	176	△108
I 法人税、住民税、事業税	4	4	-
J 法人税等調整額	-	-	-
K 当期純損失(△)(F+G-H-I-J)	△3,475	△2,041	1,434

（注）記載金額は百万円未満を切り捨て表示しています。

2 みなとみらい線（横浜駅←→元町・中華街駅間）の利用人員

2021年度は、5,704万8千人（1日平均156,296人）のお客様にご利用いただきました。前期は5,204万9千人（同142,601人）でしたので、9.6%増、499万9千人（同13,695人）の増加となりました。

このうち、定期券利用者は、前期比6.5%減の2,956万5千人（同81,000人）、定期券以外の利用者は、前期比34.6%増の2,748万3千人（同75,296人）となりました。

◇みなとみらい線の利用人員

	定期	定期外	定期+定期外
2020年度	3,163万1千人	2,041万8千人	5,204万9千人
2021年度	2,956万5千人 (△6.5%)	2,748万3千人 (+34.6%)	5,704万8千人 (+9.6%)

(注) ()内は、前期比を表します。

【参考】

◇1日平均各駅乗降人員

(単位：人/日)

	横浜	新高島	みなとみらい	馬車道	日本大通り	元町・中華街
2020年度	137,724	5,599	53,491	31,801	16,974	39,611
2021年度	150,104	5,807	60,292	31,131	20,192	45,066

◇1日平均利用人員（上表の合計×1/2）

2020年度 142,601人

2021年度 156,296人

損益計算書（要約）

（単位：百万円）

科 目	2020 年 度 自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日	2021 年 度 自 2021年4月 1日 至 2022年3月31日	増 減
営 業 収 益	7,981	9,152	1,171
旅客運輸収入	6,601	7,741	1,140
（ 定 期 ）	3,035	2,936	△ 99
（ 定 期 外 ）	3,566	4,805	1,239
その他の収入	1,379	1,410	31
営 業 費	10,379	10,315	△ 64
運 送 費	3,834	3,715	△ 118
一 般 管 理 費	330	284	△ 45
諸 税	526	532	6
減 価 償 却 費	5,687	5,781	93
営 業 損 失（△）	△ 2,398	△ 1,162	1,235
営 業 外 収 益	9	12	2
営 業 外 費 用	1,119	1,003	△ 115
支 払 利 息	897	753	△ 144
社 債 利 息	147	178	31
そ の 他	74	71	△ 2
経 常 損 失（△）	△ 3,508	△ 2,154	1,354
特 別 利 益	322	293	△ 28
特 別 損 失	284	176	△ 108
税引前当期純損失（△）	△ 3,471	△ 2,037	1,434
法人税、住民税及び事業税	4	4	0
法 人 税 等 調 整 額	0	0	0
当 期 純 損 失（△）	△ 3,475	△ 2,041	1,434

（注）記載金額は百万円未満を切り捨て表示しております。

貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	2021年3月31日	2022年3月31日	増 減	科 目	2021年3月31日	2022年3月31日	増 減
流 動 資 産	11,640	11,130	△ 510	流 動 負 債	20,073	20,093	19
現金及び預金	7,407	10,157	2,750	1年以内返済予定 長期借入金	11,891	11,562	△ 329
未 収 運 賃	461	517	56	1年以内返済予定 長期未払金	4,944	4,985	41
未 収 金	24	106	82	未 払 金	1,924	1,157	△ 767
未 収 収 益	118	135	17	未 払 費 用	606	749	143
有 価 証 券	3,300	-	△ 3,300	前 受 運 賃	467	593	126
前 払 費 用	77	76	0	そ の 他	239	1,044	804
そ の 他	252	135	△ 116	固 定 負 債	150,982	149,437	△ 1,544
				社 債	37,000	45,000	8,000
				長 期 借 入 金	73,064	68,687	△ 4,376
固 定 資 産	196,504	193,288	△ 3,216	長 期 未 払 金	38,215	33,197	△ 5,017
鉄 道 事 業 固 定 資 産	194,006	190,749	△ 3,257	そ の 他	2,702	2,552	△ 150
有 形 固 定 資 産	101,300	100,357	△ 943	負 債 合 計	171,055	169,531	△ 1,524
無 形 固 定 資 産	92,705	90,391	△ 2,313	純 資 産 の 部			
建 設 仮 勘 定	2,488	2,539	50	株 主 資 本	37,270	35,088	△ 2,182
投 資 そ の 他 の 資 産	9	0	△ 9	資 本 金	50,719	50,719	-
				利 益 剰 余 金	△ 13,448	△ 15,630	△ 2,182
繰 延 資 産	180	200	19	純 資 産 合 計	37,270	35,088	△ 2,182
資 産 合 計	208,326	204,619	△ 3,707	負 債 及 び 純 資 産 合 計	208,326	204,619	△ 3,707

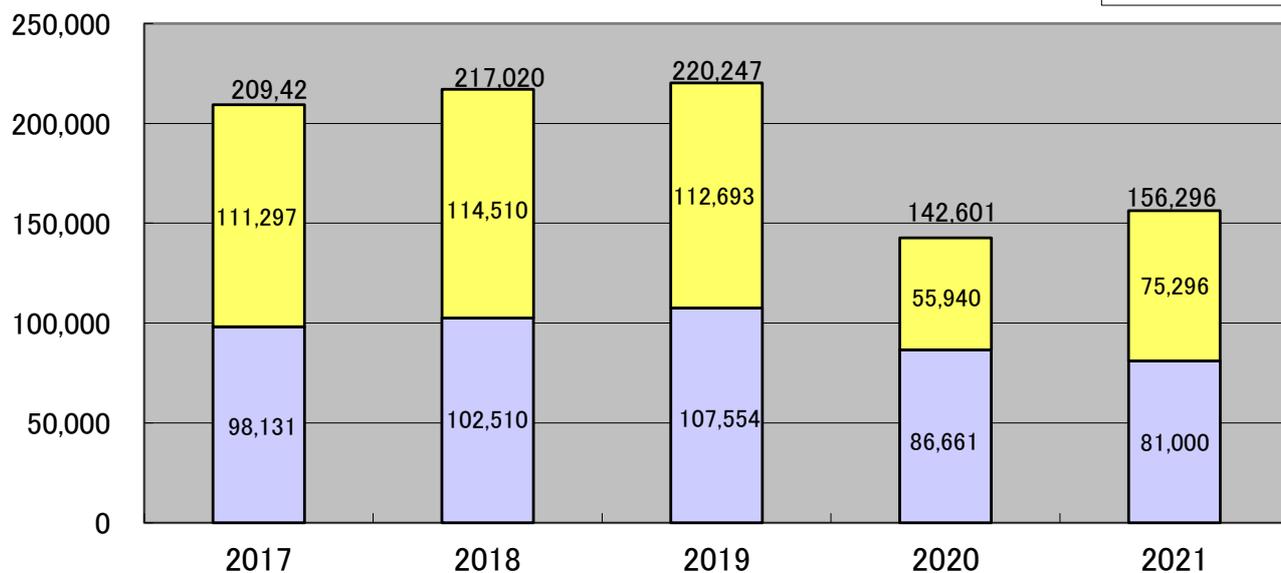
（注）記載金額は百万円未満を切り捨て表示しております。

利益剰余金の減少は、当期純損失による△2,041百万円その他、収益認識会計基準の適用に伴う期首利益剰余金の△141百万円によります。

利用人員(一日平均)実績

■ 定期外
■ 定期

(人)



償却前営業利益

(百万円)

